

H23年度生活習慣病対策健診・保健指導に関する企画・運営・技術研修(研修
計画編) VI.シンポジウム「効果の出る保健指導のための人材育成とは」

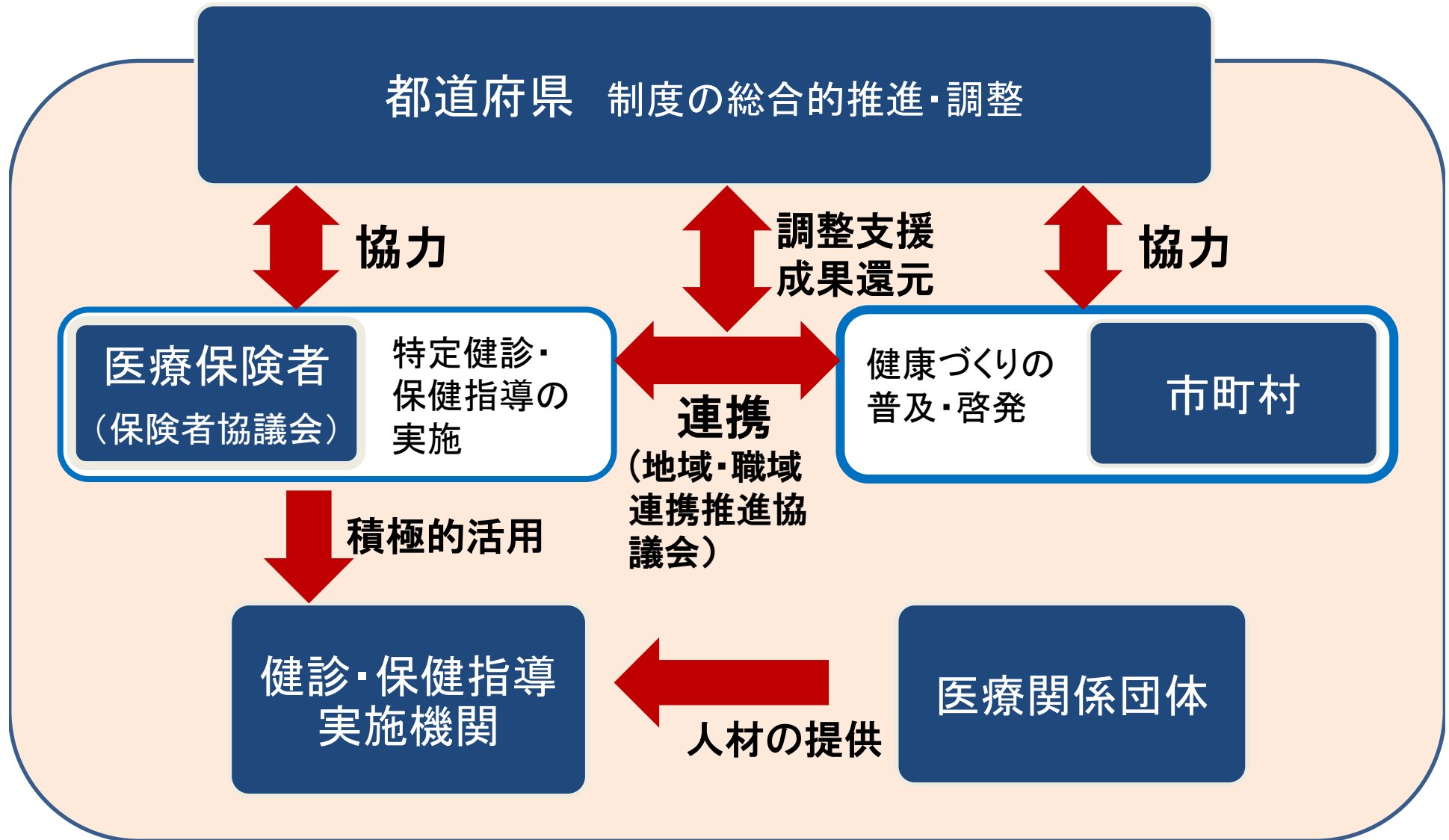
効果的な保健指導事業と 人材育成

千葉大学大学院看護学研究科
宮崎 美砂子

2011.9.27



実践者育成に関わる主体



都道府県における実践者育成の役割

●基本的役割

【特定健診・保健指導実践者育成研修の企画立案・実施・評価・改善】

- 当該都道府県内の市町村(国保・衛生部門)及び民間事業者において健診・保健指導に従事する者の育成による事業の推進と質の確保
- 都道府県レベルでの特定健診・保健指導の評価結果を研修内容に反映
- 都道府県内の保健従事者向けの研修体系への位置づけを図る

●調整支援の役割

【特定健診・保健指導実践者育成研修の効果的な体制づくり】

- 各種団体間の研修時期・内容の調整による実践者育成の推進と質の確保
- 研修内容の相互評価を行う場づくりと評価結果の研修内容への反映
- 当該都道府県内で特定健診・保健指導にあたる人材が確保できていない市町村・医療保険者への研修支援の実施



上記に加え

●総合的推進の役割

【特定健診・保健指導推進の基盤強化のための事業の企画】

- 当該都道府県独自事業の企画実施による健診・保健指導推進の基盤強化とそれを通して行う人材育成

医療保険者における実践者育成の役割

- 基本的役割

【特定健診・保健指導実践者育成研修の企画立案・実施・評価・改善】

- 当該医療保険者において健診・保健指導に従事する者の育成による事業の推進と質の確保
- 医療保険者における特定健診・保健指導の評価結果を研修内容に反映させる



上記に加え

- 特定健診・保健指導の推進役割

【特定健診・保健指導推進の基盤強化のための独自事業の企画】

- 保険者協議会，当該都道府県の国保連合会，健保組合等による独自事業の企画実施による健診・保健指導推進の基盤強化とそれを通して行う人材育成

市町村における実践者育成の役割

●基本的役割

【生活習慣病予防の総合的な推進に必要な実践者の能力開発のための研修の企画立案・実施・評価・改善】

- 地域ごとの健康課題の明確化(実態把握, 慣習や文化風土との関連の分析)
- ポピュレーションアプローチによる生活習慣病予防の戦略づくり
- 中長期的な事業展望と展開に向けた計画策定
 - 生活習慣病予防に関する情報の持続的発信
 - ライフサイクルを通じた世代毎の働きかけ
 - 健康づくりの場・仲間・協力者の育成・浸透による地域の健康文化の創生, 等
- OJT(日々の実践を通じた能力開発)による実践者のスキルアップ

医療関係団体における実践者育成 の役割

- 基本的役割

【特定健診・保健指導実践者育成研修の企画立案・実施・評価・改善】

- 保健指導を実施する者の資質向上を図ることにより健診・保健指導の推進と質の確保に貢献する
- 当該団体が行う研修体系への位置づけを図る

特定健診・保健指導実施機関 における実践者育成の役割

●基本的役割

【特定健診・保健指導実践者の質の確保と向上】

- 質の高いプログラム・保健指導技術の提供のための仕組みの構築
- 集合研修への従事者の計画的な派遣と業務への反映
- OJT(日々の実践を通じた能力開発)による従事者のスキルアップ
- 当該機関における健診または保健指導の評価結果を強化すべき従事者の知識・技術の育成内容に反映させる

進捗状況からみた特定保健指導事業の課題

健診受診率の確保

- 40歳代, 50歳代の健診率が伸びない
- 周知の浸透, 関心の喚起, 健診を受け易い条件づくりへの対応は?

保健指導実施率の確保

- 希望者が少ない
- 保健指導への理解・関心をどう高めるか? 未参加者への対応への対応は?

受診勧奨者, 受療者への対応


- 受診勧奨判定値を超える人が予想以上に多い。対応のシステム化は?

経年的な評価方法の確立

- 経年的に対象者を追跡して評価できる方法を確立させたい
- 成果を見えるかたちにしたい

特定保健指導後の受け皿

- 健康増進事業との関係づけは?
- 地域住民による自主的な健康づくり活動は? 地域の人材育成は?



制度の総合的推進・調整を担うリーダーとして考えるべきこと

- 都道府県
- 医療保険者
- 市町村
- 健診・保健指導実施機関
- 医療関係団体

それぞれの立場において, 実践者の人材育成の観点から強化すべき能力とは何か?

実践者が今後強化すべき能力

- 課題に対する 問題探求力
 - 実態をみる(個別と集団を関連づけて), 問題の背景を知る, 因果関係を推察・分析する
- 取組の俯瞰力
 - 上位計画・他事業との連関, 中長期的な展望の描き
- 組織的な運営・推進力
 - 組織内での課題の共有, 取組推進に向けての組織形成
- 取組を評価し, 評価結果を改善につなげる力
 - 取組の振り返り, そこから得た気づき・教訓・学びを次に活かす=リフレクション
- 実践知の集積から形式知への転換力
 - リフレクションによる気づき・教訓・学びを集積して, 今後に活用できる知識としていく(事例集→マニュアルへの反映)
- 情報発信力
 - 取組の成果・評価を組織内外の人々と共有・意見交換し, 取組に対する方向性の確信・自信を高めていく

研修会・OJT等による 実践者の能力育成のステップ

- 所属機関・団体での役割遂行に向かう動機を高め、自己の課題（知識・技術・実行面等）について気づき・考え、自己研鑽の目標を設定できるようにする（講義に加え演習・他者との意見交換が有効）
- 所属機関・団体での実践を通して、研修で学んだ知識・技術を実践・評価しながら習得する（記録、対話、事例検討等により行うリフレクションが有効）

A県での実務者育成研修講師の経験から:

「保健指導スキルアップ研修:効果的な保健指導を効率よく実施する工夫」の単元で設定した到達目標

- 所属先が行う特定健診・特定保健指導において
 - ①取組みの工夫点, 課題についてそれぞれ説明できる
 - ②本年度の取組に優先的に反映すべき課題を明らかにできる(誰の・何に関する問題・取り上げる理由)
 - ③上記課題について「人々の健康づくりに対する主体性の育成」「健康づくりに対する環境・条件づくり」の各観点から, 取組むべき具体的活動を提示できる
 - ④強化すべき自分の役割について明確にできる
 - ⑤強化すべき自分の知識・技術について明確にできる

※研修受講者の立場(都道府県, 医療保険者, 市町村(国保・衛生部門), 民間事業者等), 担う役割を踏まえた各自の役割の明確化, 強化すべき知識・技術・行動の気づきが大事である

実践者の開発すべき能力の向かう方向

健康づくりに対する人々の主体性の育成

- 情報提供, 動機づけ, 目標設定, 効果的実践方法の指導, 励まし・相談

健康づくりのための環境や条件づくり

- 実践の場・仲間づくり
- 家族・地域への取組の浸透・波及
- 地域(職場)の風土づくり
- 資源・人材の整備とネットワーク

効果的な保健指導事業の技術(1)

ーコアとなる技術ー

- 健康づくり・生活習慣の改善という、目標の見えにくい、取り組みの成果を実感しにくい事柄に対して、人々が価値を置き、主体的に行動できるようにするには、**信頼できる支援者からの働きかけ、関わり**が欠かせない
- 人材育成においては、信頼関係形成を基軸に、人々の主体性ある行動を支援できる能力開発が必須となる

健康づくりの主体性を育てる 保健指導の技術の構成

信頼関係の形成技術

<初回面接>

- ・対象者への配慮ある対応
- ・名前と顔の分かり合う関係づくり
- ・予防のために何が大切かに目を向けていくことの表明
- ・対象者と共に考えることの表明
- ・長期的な視点に立った対象者との関係づくり

<継続的なかかわり>

- ・継続的な接点の形成
- ・対象者の行動開始, 継続に対する共感
- ・対象者との関係のコントロールによる対象者の主体性の支え

行動変容の根拠を提供する技術

- ・行動変容の必要性に対する対象者の理解の形成
- ・行動変容による効果の現実性, 意味に対する対象者の考えの形成
- ・学習教材の根拠提示による問題の所在や行動変容の意義への納得の形成

関心やタイミングを捉えた働きかけの技術

- ・対象者の準備状態のアセスメントと状態に応じた働きかけ
- ・環境, ライフイベントの変化等に拠る関心, きっかけ・タイミングを捉えた働きかけ

保健指導の展開

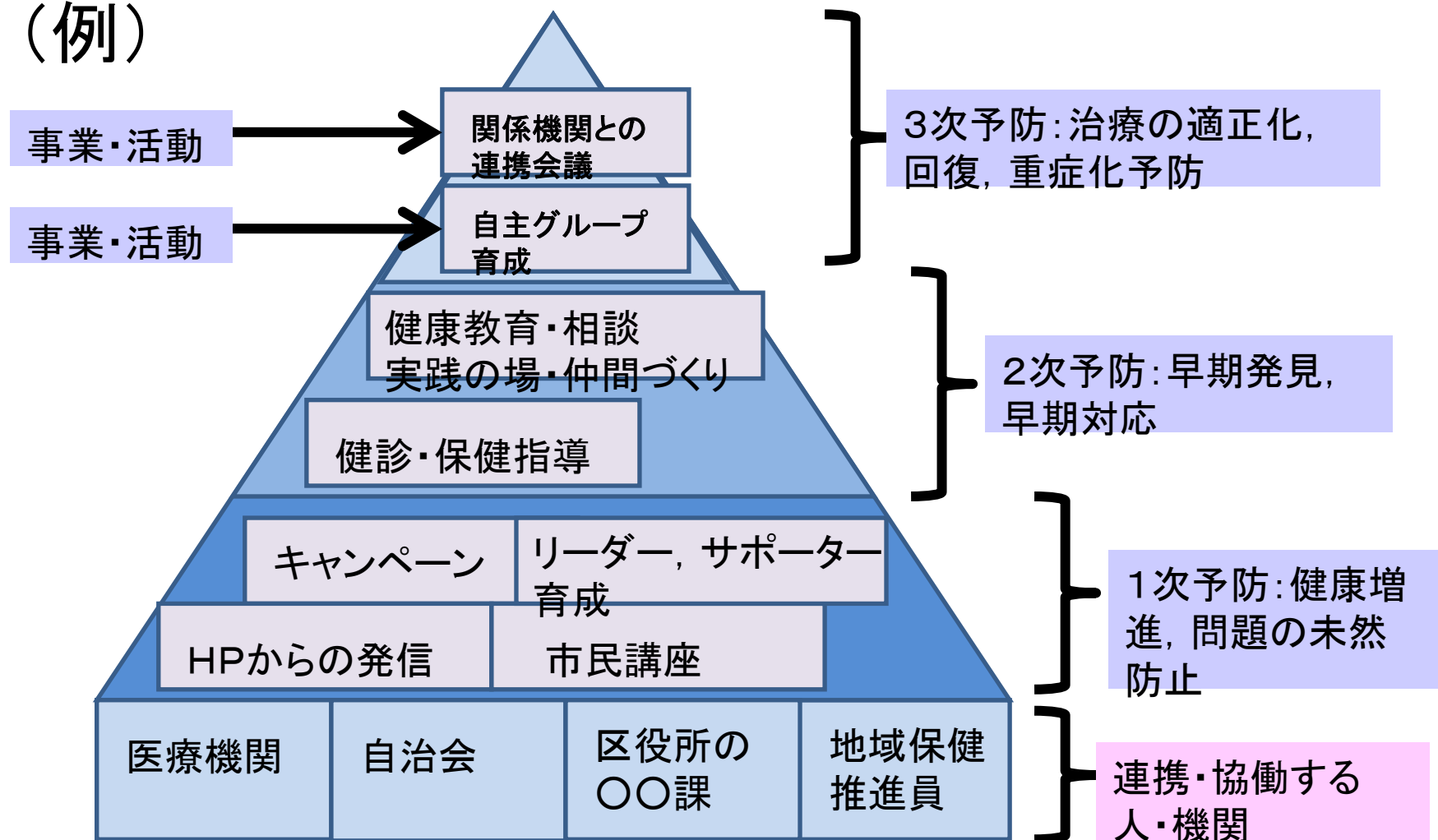
保健指導の展開

効果的な保健指導事業の技術(2) —環境・条件づくりの戦略—

- 生涯のその時々において、主体的な健康づくりの行動を支えることのできる環境・条件づくりが必要である
- 環境・条件は、体制やシステムとして、
「構造」「場」「拡がり」「しくみ・仕掛け」
「連携・ネットワーク」をもつことが重要である
- 人材育成においては、環境・条件づくりの観点から、問題分析、対策案の企画、実施・評価の能力開発が必要である

予防活動全体の戦略構造を持つ

(例)



横田紀美子ほか: 地域ぐるみの減塩教育キャンペーンの実際とその評価: 筑西師協和地区・脳卒中半減対策事業 メディアによる健康教育活動, 日本公衛誌, 53(8), p545, 2006.を参考に作成

“場”（コミュニティ空間）と支援の質

生活圏域

VS

広域地域

徒歩圏域：公民館単位・自治会単位・団地集会所単位

保健所管轄地域

- 開催場所への接近性
- 日常生活との連続性
- 安心感・居心地
- 住民同士の対等な関係性
- 自己の地域・住民への関

- 支援体制の連続性・一貫性・責任性
- 支援の専門性
- 支援の日常性にも対応できる柔軟性
- 支援の協働性・総合性

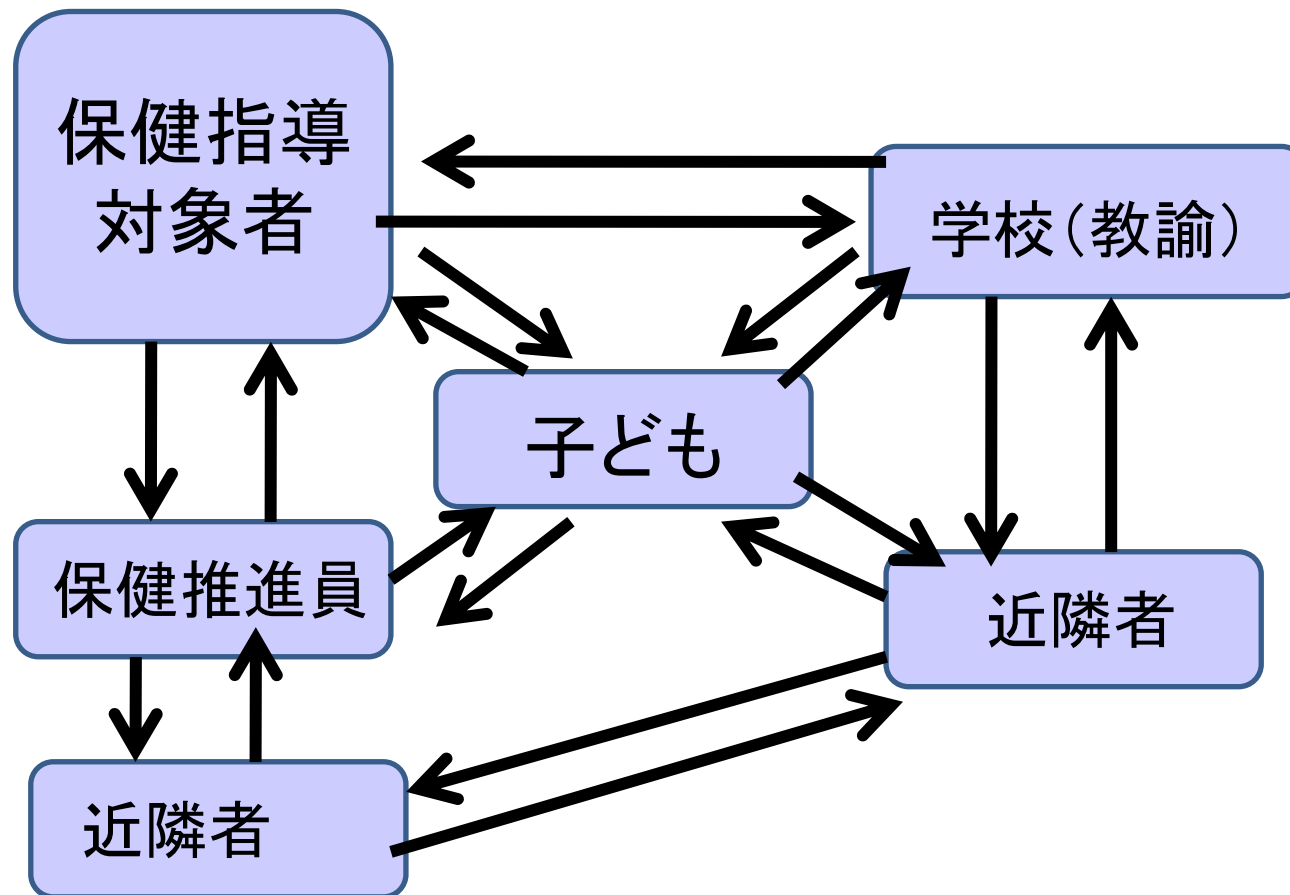
生活者を中心とするネットワーク

専門家を中心とするチームワーク

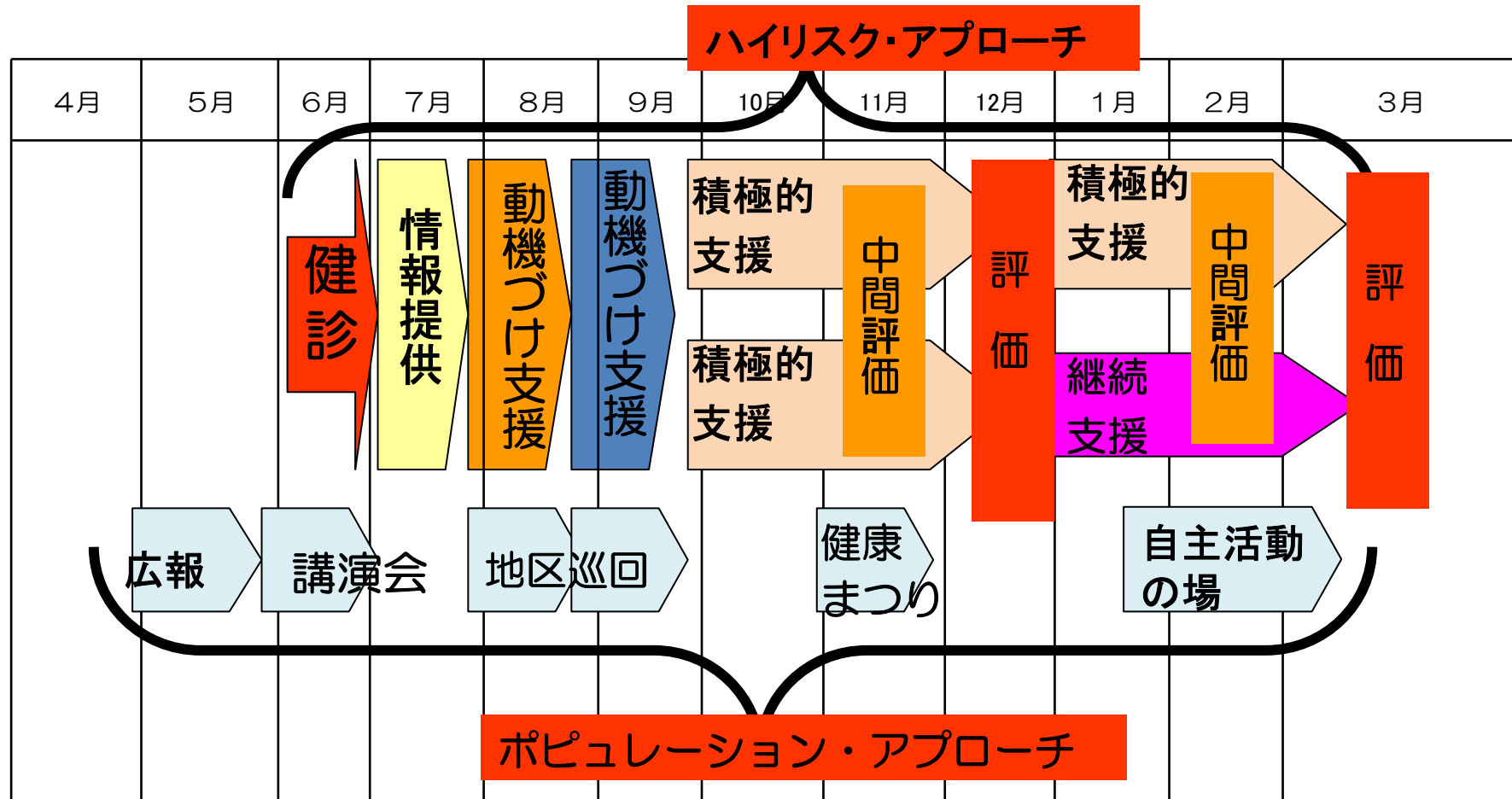
宮崎美砂子他：地域を単位とした在宅ケアの質の向上にかかわる看護判断，平成11～13年度文部科学省科学研究費補助金基盤研究(C)(2)研究成果報告書，2002.

予防活動の拡がりの戦略を持つ

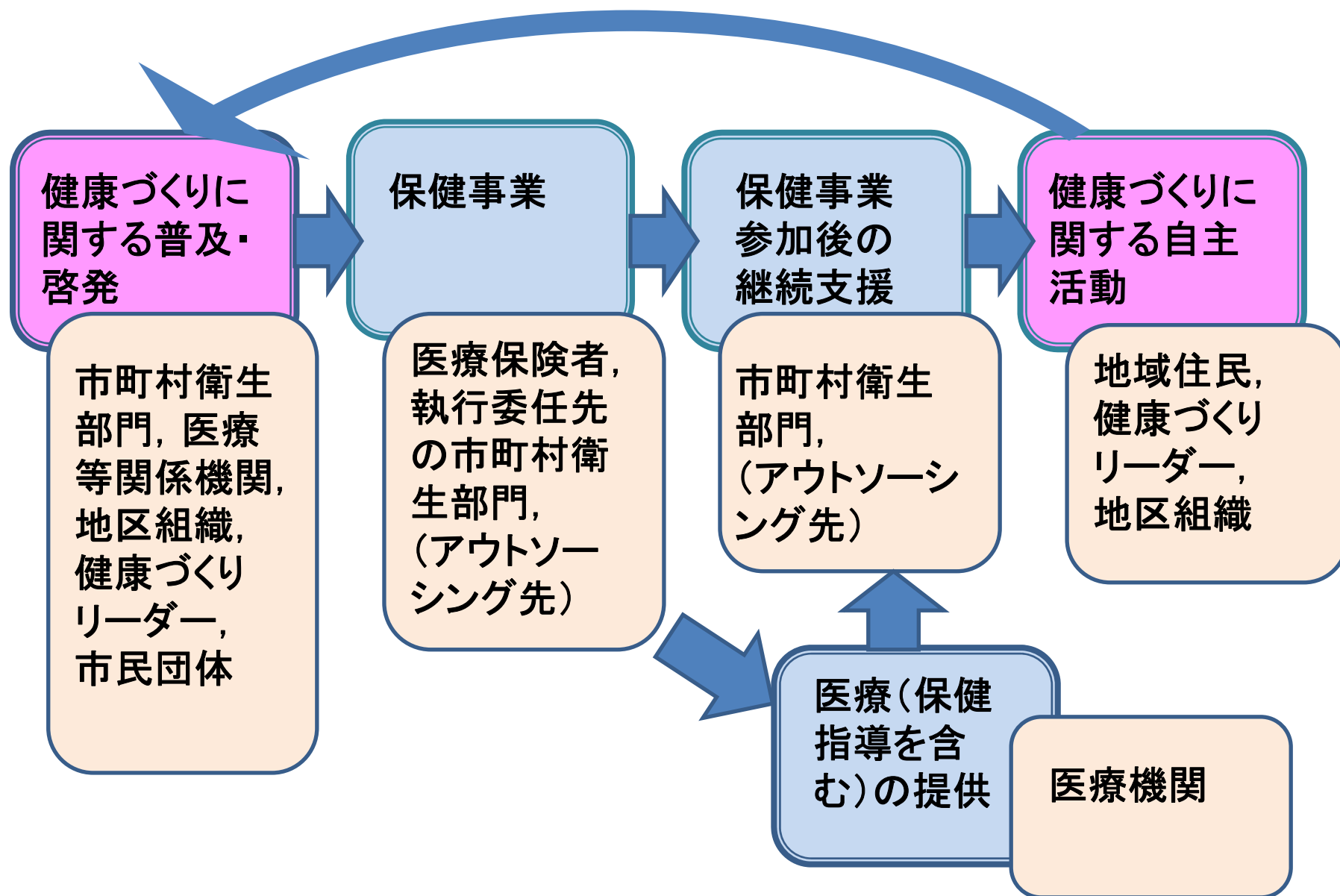
(例)



ポピュレーション・アプローチとハイリスク・アプローチの相乗効果をねらう時期的な「しかけ」をつくる



健康づくりの全体像と連携・ネットワーク



文献

- 金川克子監修, 宮崎美砂子編集: 効果的な面接技術と事業展開から学ぶ保健指導, 中央法規, 2009.
- 金川克子, 宮崎美砂子他: 新しい特定健診・特定保健指導のすすめ方, 中央法規, 2007.
- 宮崎美砂子他: 地域を単位とした在宅ケアの質の向上にかかわる看護判断, 平成11~13年度文部科学省科学研究費補助金基盤研究(C)(2)研究成果報告書, 2002.

千葉大学附属図書館CURATOR

<http://mitizane.ll.chiba-u.jp/metadb/up/assist1/Hoka-01.pdf>

- 横田紀美子ほか: 地域ぐるみの減塩教育キャンペーンの実際とその評価: 筑西師協和地区・脳卒中半減対策事業 メディアによる健康教育活動, 日本公衛誌, 53(8), p545, 2006.